

作成日(改訂日): 2016年6月15日

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : OAT 石灰硫黄合剤  
 会社名 : OATアグリオ株式会社  
 住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8階  
 担当部署 : 品質保証室  
 電話 : 088(684)0220  
 FAX : 088(686)7055  
 緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0251(本社)  
 整理番号(SDS No.) : OAT0119-7  
 使用上の制限 : 農薬

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

## 健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分 4  
 急性毒性(経皮) 区分外  
 皮膚腐食性・皮膚刺激性 区分 1  
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 1  
 皮膚感作性 区分 1

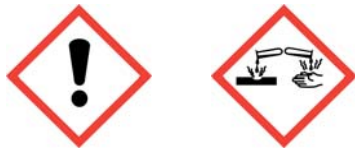
## 環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分 3

\* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

## GHS ラベル要素

## 絵表示



注意喚起語	危険	
危険有害性情報	飲み込むと有害	H302
	重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷	H314
	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ	H317
	水生生物に有害	H401

## 注意書き

## 【安全対策】

ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261)  
 取扱い後は手及び顔をよく洗うこと。(P264)  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)  
 環境への放出を避けること。(P273)  
 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

## 【応急措置】

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)  
 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)  
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)  
 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)  
 吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
 皮膚に付着した場合、眼に入った場合、飲み込んだ場合、吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。(P310)

特別な処置が必要である。(この SDS の 4. 応急措置を参照) (P321)  
 口をすすぐこと。(P330)  
 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること。(P333+P313)  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)

## 【保管】

施錠して保管すること。(P405)

## 【廃棄】

内容物/容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託すること)。(P501)

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 化学名(又は一般名) : 石灰硫黄合剤

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
多硫化カルシウム	27.5 (全硫化態硫黄 22.0)	-	-	-
水等	72.5	-	-	-

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

蒸気、ミスト等を吸入して身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。

## 皮膚に付着した場合

速やかに衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水と石鹼を用いて十分に洗浄する。  
 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受ける。  
 汚れた衣類は再使用前に洗濯しておく。

## 眼に入った場合

放置すれば失明の危険性あり。  
 直ちに大量の清浄な水で 15 分間以上洗眼し、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際は、まぶたを指でよく開けて、眼球やまぶたのすみずみまで水でよく洗い、眼科医の手当てを受ける。

## 飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄する。無理に吐かせてはならない。  
 被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。  
 直ちに医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

## 消火剤

火災の状況に応じた消火剤を使用する。  
 放水による消火の場合、本品を高濃度に含有する液が河川等に流出しないように注意が必要である。  
 使ってはならない消火剤: 棒状注水

## 火災時の特定危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスが発生するおそれがある。  
 加熱された容器は破裂するおそれがある。

## 特定の消火方法

周辺火災の場合で移動可能な容器は、安全に行える場合に限り火災場所から搬出する。  
 移動不可能の場合には、容器とその周辺散水して冷却する。  
 消火が不可能なら、周辺を防護してそのままなくなるまで燃焼させる。

## 消火を行う者の保護

空気呼吸器と適切な保護具を装着して風上の安全な距離から消火作業を行う。

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項

適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用して、風上で作業する。  
 眼や皮膚との接触を避ける。  
 屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

## 環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

## 除去方法

残渣を可能な限り密閉可能な容器に回収する。  
 少量の場合は、吸着剤(土砂またはおがくず、ウエスなど)で吸着させて取り除いた後、残りをウエス、雑巾などで拭き取り、多量の水で流す。  
 大量の場合、容器等から流出していれば、土砂などで囲って流出を防止し、スコップなどで空容器等へ回収する。  
 本品を拭き取った布等は、焼却する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

### 取扱い

本品の取扱い時には、暴露防止のために適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用し、作業中は十分に換気を行う。  
 蒸気、ミストの吸入、皮膚や眼への接触、及び経口摂取は避ける。  
 作業後には必ず手、顔及び眼を十分に洗浄する。  
 本品の用途以外に使用しない。他の薬品類と混合しない。酸性物質との混触はしない。  
 作業着は再使用前に洗濯する。  
 的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。  
 強アルカリ性であるため、取り扱う材質は耐食性のものを用いる。

### 保管

密栓し、冷暗所で保管する。結晶が析出するため、0°C以下での保管は避ける。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

この製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。また全体換気を適切に行う。

### 管理濃度、許容濃度

管理濃度(作業環境評価基準(昭和 63 年労働省告示第 79 号))は設定されていないが、AGCIH が許容濃度を設定している成分を含有している。

### 保護具

呼吸器用の保護具	: 防護マスク
手の保護具	: 耐食性かつ不浸透性の手袋 ニトリルゴム及び塩ビは適切ではない。ネオプレンが推奨される。
眼の保護具	: 安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	: 不浸透性の保護衣及び長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

形状	液体
色	赤褐色
臭い	硫黄臭
pH	11.0~12.0(1%)

### 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	データなし
融点/凝固点	データなし
分解温度	データなし
引火点	データなし
発火点	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重/密度	1.26(20°C)
溶解性	
水に対する溶解性	水と任意の割合で混和する。
オクタノール/水分配係数 (log Pow)	データなし

## 10. 安定性及び反応性

## 安定性

通常の保管条件では安定。

## 反応性

酸と反応して有毒な硫化水素ガスが発生する。

## 避けるべき条件

危険な反応の原因となる条件は知られていない。

## 避けるべき材料

酸

## 危険有害な分解生成物

知見なし

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

経口 LD<sub>50</sub> 値 : 442 mg/kg (♂ラット)、603 mg/kg (♀ラット)

経皮 LD<sub>50</sub> 値 : >2000 mg/kg (♂♀ラット)

## 皮膚腐食性・皮膚刺激性

強アルカリであり pH が 11.5 を超える可能性があるため、区分 1 とした。

10 倍希釈液: 軽度の刺激性あり

100 倍希釈液: 軽度の刺激性あり

## 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

強アルカリであり pH が 11.5 を超える可能性があるため、区分 1 とした。

10 倍希釈液: 軽度の刺激性あり

100 倍希釈液: 極く軽度の刺激性あり

## 感作性

皮膚感作性 中等度の感作性あり

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

LC<sub>50</sub>(96 時間) : 393 mg/L(コイ)

EC<sub>50</sub>(48 時間) : 16.5 mg/L(オオミジンコ)

EbC<sub>50</sub>(72 時間) : 119 mg/L(緑藻)

## 13. 廃棄上の注意

本品を直接排水や河川等に廃棄してはならない。

知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

## 14. 輸送上の注意

## 国連番号、国連分類

番号 : 未評価

クラス : 未評価

## 輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に漏れないことを確認し、転倒、落下、損傷がないよう積み込む。積載する場合には、容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。容器は乱雑に取扱わない。

## 15. 適用法令

農薬取締法 登録番号 第 23641 号

毒物及び劇物取締法 非該当

労働安全衛生法 名称等を通知すべき有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9): 非該当

化学物質管理促進法(PRTR) 非該当

## 16. その他の情報

## 参考

OATアグリオ株式会社保有データ  
MSDSnavi(日本ケミカルデータベース株式会社、2016)

## 連絡先

製品に関する問い合わせ先: コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先: 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料: 無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料: 1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

## 責任の限定について

安全データシートは、製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者を提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従いまして、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いします。